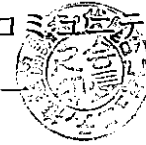


平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

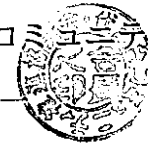
下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	子育て支援環境整備
事業実施前の状況	伏尾台第1コミュニティセンター内の一室を使用し、幼児向けの備品を整備し、乳幼児を育てる母親に気軽に集まれる場所として提供し、これを運営する子育て支援グループを立ち上げた。毎週、部屋が開設される日時を決めて無料登録制で参加者を募集する方法で運営している。
事業実施後の状況	先の幼児向け備品に加え、さらに体重計や遊具などの乳児用備品を整備した結果、気楽に集い親子共に遊び解放感を持てる部屋を維持できた。これまで登録された親子は36組、ボランティアは8名であった。
事業の効果	整備した「ほっとルームフレンズ」で親交を深めた親子同士がお互いの家や公園に集い、グループで遠出できるという関係が築けるようになっている。この部屋に集うことで、子育て仲間や支援者と話し合うことで、子供と純粋に向き合い遊ぶ時間が持てることが貴重であるとの感想が多く寄せられている。初期目的である、密室育児で子育てストレスをためてしまうことを防止できる環境を整備できている。
今後の課題等	この部屋は未就園児を対象としているため、就園児となった親子へのサポート体制を新たに設けていく必要が生じている。また、新たな未就園児の親子への広報活動並びに新規登録を円滑に進める必要がある。一方、一人で部屋を訪れる母親にも話を聞いてあげられるよう支援者の当番制を確立する制度が必要である。よって、支援者が常駐する常設の子育て支援の部屋が必要である。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	伏尾台校区住民がスポーツに親しみ気軽に参加できる機会を設け幼児から高齢者まで楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る目的で、伏尾台校区市民レクリエーション大会実行委員会を組織し、自治会連合会の協賛のもと、伏尾台大運動会を行ってきた。各自治会の組織率の低下にともない、自治会からの参加者並びに協賛金も低下している。
事業実施後の状況	自治会協賛金の低下を補う形の補助金として、必要な運営費用を賄うことが可能になり、例年どおりのプログラムを組むことができ、多くの住民が参加して大いに楽しめるスポーツ大会を開催できた。
事業の効果	実行委員会並びに自治会連合会の役員、スタッフともに運営が積極的に行われ、又、各自治会の参加者募集の努力の結果、例年以上に参加者が増えて盛況な運動会であった。
今後の課題等	自治会連合会から実行委員会へ、盛況な運動会が開催できたことを喜ぶとともに、参加者の高齢化からプログラムの見直し並びに運動量の減量化を求める申入れがあった。幼児から高齢者までスポーツを楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る初期目的に立ち返り、新しい形態の運動会を模索していく必要がある。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	公園整備事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台の中央公園は、その北側にある伏尾台センターの商店街への通り道にもなっており、公園内の西側の階段とスロープ部分は散歩や買物とで往来が多いところであった。</p> <p>この階段とスロープ部分は、雨上がりの後で植込み部分からの砂が流れることが多く、滑り易くなることが多々生じ、高齢者のみならず子供も転ぶことがあった。</p> <p>市では中央公園の遊具の入換えを平成23年度予算で行うことが予定された際、本協議会では、幼児用と高齢者用の遊具を要望するが、かかる階段とスロープ部分に手すりを設置する予定がなかった。</p>
事業実施後の状況	<p>中央公園のリニューアル工事とともに、公園内の西側の階段とスロープ部分に手すりを設置したところ、子供も大人も手すりを持って階段、スロープを上り下りできるようになった。</p>
事業の効果	<p>中央公園のリニューアルで種々の遊具が整備されたことにより、幼児と高齢者の利用が従来より増加していることが確認できたが、かかる階段とスロープ部分での転倒事故などは耳にしないので、手すりの設置が有効であるものと考えられる。</p>
今後の課題等	<p>階段とスロープ部分に手すりが設置されたが、転倒などの要因となる、植込み部分から砂が流れ易い状態である点を改善しそれを維持することが必要であると考えられる。</p>

平成24年5月31日

池田市長 様

住所 池田市伏尾台3丁目5-8

協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会

会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防犯防災啓発事業
事業実施前の状況	<p>防災・防犯委員会は、自治会連合会より配分される50円×1370戸の予算で運営されるが、毎年の戸数減で運営費が厳しい状況にあった。自治会主催の夏祭りの交通整理と警備を請け負い、毎回数十人の委員が参加するが、市からの貸与の安全チョッキは20枚であり、参加委員全員に着用してもらうことができなかった。</p> <p>毎年12月の総合防災訓練での費用も毎年参加人数が300名を超えるため嵩むが、自治会からの配分予算では厳しい状況であった。</p>
事業実施後の状況	<p>補助金にて安全チョッキとパトロールライトを整備した結果、夏祭り時約70名、7月と9月の迷惑駐車パトロール時延べ60名、年末巡回2日間の延べ約90名の全員にチョッキ着用、巡回グループ毎にパトロールライトを装備してで安全にパトロールを実施できた。</p> <p>12月3日(日)の総合防災訓練には、補助金を訓練活動の諸費用に活用することで、約320名の住民が参加して7項目の訓練を行い、備蓄されている防災備品の性能チェックを行うことが出来た。また訓練時の約40名のスタッフ全員が安全チョッキを着用した。</p>
事業の効果	<p>安全チョッキとパトロールライトは耐久性が高く、貸与の繰り返しが可能で、防災・防犯委員会のみならず、各自治会主催の街区一斉清掃時も貸与が可能となった。</p> <p>自治会からの配分予算の増額が困難な中、総合防災訓練での必要経費を補助金で賄うことができ、320名を超える住民に訓練を受けもらうことができた。</p>
今後の課題等	<p>自治会主催の夏祭りの交通整理と警備に際し、より安全に歩行者を誘導できるように、通行止め区間における照明等が確保されることが望ましい。総合防災訓練時の引率リーダーの養成のために、独自の教育カリキュラムを組めるようにしたい。</p>

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	協議会事務所運営事業
事業実施前の状況	コミュニティ推進協議会の認知度を上げる一つの方策として、事務所設置を行った。周回道路沿いで西公園側と目立つ場所に看板と掲示板を設置してこれを維持している。
事業実施後の状況	事務所設置後に、協議会の会議を行う以外の活動として、「防災・防犯委員会」の活動拠点として、会議開催の他、年末の防犯防火の巡回拠点として活用してもらっている。また、地域内で季節の花を植える「花の会」の活動拠点としても利用してもらっている。
事業の効果	伏尾台地域に入ってすぐの目立つ立地条件のもと、コミュニティ推進協議会はもとより、防災・防犯委員会、社協の花の会の活動拠点として、それぞれ活用されている。
今後の課題等	建築後30年以上経過している建物であることから、雨漏りや結露が著しく、書類の保管ができず、いわゆる事務所としての機能を発揮させることができないため、会議開催程度の活用しかできない。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	街路灯強化事業
事業実施前の状況	伏尾台地域が完成してから25年以上を経過して、地域内に夜道の暗い箇所が散見されるという意見が多かった。
事業実施後の状況	協議会内に委員会を立ち上げて、照度アップが必要な箇所、新設が必要な箇所を、それぞれ地域住民がリストアップし、これに優先順位を付けて、予算内に収まるように1丁目から5丁目まで均等に割りふりを行い、蛍光管の交換並びに街路灯の新設を7月に実施した。
事業の効果	小学校の通学路として指定されている道路沿いや遊歩道については、ほぼ一定の照度アップが2年で完成したため、雨天の下校時、日暮れが早い冬の季節で、とても明るくなったとの感想を多く聞いた。 街路灯委員会での照度の検討が街並みのチェックを行うきっかけになり、地域の種々問題をより深く検討することができた。
今後の課題等	まだ照度アップが必要な箇所が残っているので、次年度も実施予定であるが、次年度で街区に必要とされる照度アップはほぼ完成するものと思われ、費用対効果が飽和することを確認する必要がある。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8

協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会

会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

<p>事業名</p>	<p>安全パトロール実施事業</p>
<p>事業実施前の状況</p>	<p>平成20年9月より実施した。当所小学校の登校日を中心に、1回1時間、1日6回のパトロールからスタートし、その後1日4回に組み直して実施した。当初より小学生にあいさつの声掛けを積極的に行ってきた結果、中高生、出勤の人まであいさつを交わすことができるようになり、防犯効果も高まってきた。</p>
<p>事業実施後の状況</p>	<p>小学校の曜日ごと、学年ごとの下校時刻の違いに応じてより細かくパトロールスケジュールの見直しを行い、小学校の登校日に、1回1時間、1日2~4回のパトロールを実施した。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>4年目の継続が力となり、少なくともパトロール隊員のあいさつを受けたことがない小学生、中学生、高校生はいないことになり、隊員と子供たちとの朝のあいさつが定着してきた。休日の散歩などの際に隊員と子供たちのあいさつが散見できるほどである。このあいさつが大人同士も浸透しつつあり、近隣の目が空き巣等の防止につながり、防犯カメラ事業との相乗効果も有り、ここ3年連続して空き巣犯罪"0"を更新できている。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>継続が力となることは証明できるが、隊員を増員しても乗務希望の曜日と時間が重複することが多く、また、夕刻以降の乗務希望車が減少しており、スケジュールを組むことが担当者の大きな負担となっている。何らかの対策が必要である。</p>

平成24年5月31日

池田市長 様

住所 池田市伏尾台3丁目5-8

協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会

会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防犯カメラ管理事業
事業実施前の状況	伏尾台地域は出入りできる道路が2か所しかない特殊性を利用し、その2か所を通過する車の全てを撮影できるように2台ずつの防犯カメラを設置した。レコーダーに内蔵のHDには3週間分の画像を保存でき、3週間経過後の画像を順次削除して新しい画像を記録するシステムである。従って、初期目的の維持には、カメラ並びにレコーダーの作動状況を定期的に点検する必要がある。
事業実施後の状況	カメラ並びにレコーダーのメンテナンスを行うまでに、池田署より捜査のため記録開示の要請が2件あった。市危機管理課と協議会の立会いのもと開示の結果、良好に記録されていることを確認した。又、業者によるメンテナンスの際も各機器は良好に作動していることが確認された。
事業の効果	メンテナンスされて地域に出入りする車両の画像を良好に記録でき、警察の捜査にも協力できている。同時に実施している安全パトロール事業での青パトロール車の巡回、地域内の防災防犯委員会並びに自治会の防犯活動と相まって、3年連続して空き巣事件"0"を更新できている。
今後の課題等	防犯カメラの設置並びにその維持に対して、住民の認知度は上昇しつつあり、新たに公園、学校周辺に増設を望む声がある。一方で、住民が安易には記録開示を要請できない規約になっていることが知られておらず、防犯カメラ運用規約の広報活動と「防犯カメラの作動中」の看板を増設する要請との調整が急務である。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防災倉庫設置事業
事業実施前の状況	伏尾台小学校には市が管理する防災備品を空き教室に収納されている。災害発生時の迅速な救助活動を行うことを想定すると、地域住民が管理できる防災倉庫を校庭に設置し、防災備品等を収納して日頃から訓練することが望ましい。
事業実施後の状況	体育用品等を収納する倉庫と並ぶように防災倉庫を設置した。設置後、校庭で自治会主催の夏祭り及び運動会が開催された際に、防災倉庫が設置された旨、広報を行った。
事業の効果	避難場所に防災倉庫が設置され、災害発生時の迅速な救助活動に備えることが可能になった。 小学校の校庭に、自治会連合会、防災防犯委員会で協同管理する防災倉庫が設置されていることを、小学校で開催される住民の夏祭りや運動会において、毎回広報できるため、防災に対する住民の意識の向上を図ることが期待できる。
今後の課題等	倉庫の扉の施錠や鍵の管理責任者を徹底する必要がある。また、倉庫内の収納備品を整理するための棚を設置する必要がある。定期的に倉庫内の備品のチェックを行う必要がある。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	AED管理事業
事業実施前の状況	3年前に阪急バス車庫事務所、伏尾台センターコープ店舗内に設置した。これまで使用されたことがないが、緊急時に備えてメンテナンスが必要である。
事業実施後の状況	阪急バス車庫事務所に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。 なお、伏尾台センターコープ店舗内に設置分は、メーカーによるリコールで新品状態となった。
事業の効果	午前10時から午後10時まで開店しているコープ店舗内と、24時間常駐されている阪急バス車庫内に、AEDが使用可能な状態で常備されることになった。
今後の課題等	地域住民へのAED設置場所の周知徹底を図ること。 毎年、総合防災訓練で使用体験を実施しているが、別途、使用訓練の機会を設けること。 定期的に設置状態の確認を行うこと。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	自治会連合会が主催する夏祭りは、各丁目の自治会の会員数に応じた分担金で運営されているが、会員数の減少化が進む自治会が増える中、総額を抑えるとともに予算配分に苦慮している状況にあった。
事業実施後の状況	盆踊りを行うための予算を、本補助金で充填することができ、例年どおりの夏祭りを開催することができた。
事業の効果	地域住民の高齢化と小子化が進む中、伏尾台にこれだけ子供がいたかと思えるほど、地域へ帰省中の若い親子連れが目立つとの印象を多くの自治会役員が口にするほどの、盛況な夏祭りとなった。
今後の課題等	自治会連合会では、盆踊りを本補助金で賄うことができたが、夏祭りの一環として子供会が行う御神輿巡行の費用を負担しており、この費用に関しても近年予算化が困難になっきている。

平成24年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台3丁目5-8
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	コミュニティ道路整備事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台が造成された際に、細川中学校運動場東側は久安寺の地所である里山に隣接しており、山中にある炭焼き小屋跡まで散策できるように、中学校運動場東脇には(1)「階段道とこれに続く平坦道」約150mが造られていた。炭焼き小屋跡からは(2)「急なつづら折れ道」約150mと(3)「崖沿いの直線道」約190mを通ると、久安寺山門脇に出る山道があった。</p> <p>細川地域コミュニティ推進協議会から、「崖沿いの直線道」が道幅が狭く危険であり、整備したい旨の申入れが有り、また、久安寺の駐車場そばにグランドゴルフのコースを整備することになったので、伏尾台からも散策道で往来し易いように、協同で整備することになった。</p>
事業実施後の状況	<p>平成24年3月から4月にわたり、(3)「崖沿いの直線道」を久安寺の許可のもと、細川地域の多くの方の労働奉仕の手助けによって拡幅・舗装工事した。</p>
事業の効果	<p>(3)「崖沿いの直線道」は、傾斜緩やかだが道幅狭く極めて危険であったが、整備後は親子連れで子供でも安心して歩ける道になった。</p>
今後の課題等	<p>(3)「崖沿いの直線道」が整備されたことより、相対的に(2)「急なつづら折れ道」約150mが通り難く感じられるようになり、ここを整備することで、初めて伏尾台から久安寺へ散策道で安心して往来可能であると言える。</p>